



通信員コメント欄からの声を集めてみました。

希望記事

・自治体や官公庁で決めているリフレッシュ休暇の日数等、比較してみてもどうでしょうか？ 民間に比べてどうなのでしょう？ よろしくお願ひいたします。

掲載を検討中のテーマです。平成二二年度に掲載できるよう情報収集を行いたいと思います。

・ワークライフバランスについて学んで見たいです。

ワークライフバランスそのものをテーマにすると、「働きすぎ」という面や先進諸外国と比べて労働時間が長いとか、統計データが中心の記事になるような気がします。生きがいの三要素(家族との時間、自分の時間、仕事の時間)を考えた場合、やはり仕事に傾きすぎているということが問題なのではないでしょうか。既掲載の「ALPS」の例えば、家族、生きがいなどの記事においては、そのことを意識して掲載しております。

・各地域での珍しい、また特色のある伝統的な芸能・文化の紹介などがあると楽しみが出来ます。広く知れ渡っているものもありますが未だ多くの隠れたものがあると思います。

掲載を検討してみます。また、平成二二年度には、くらしを豊かにするハンドブック「地域文化伝承」編の発行を計画しているところです。

・自転車、トレイルランニング、ダンベル体操、音楽活動に関するもの。

少しマニアックな気がします。

・リタイヤ後に役立つ(有利)な資格について

資格信仰的な考え方が垣間見られます。現実では、例えば、優秀な経営コンサルタントで中小企業診断士の資格を保有している人は稀です。資格がなくてもコンサルタントはできるからです。必要なことは、一つは営業力、そしてどれだけその業務にのめり込むことができるか、すなわち、好きな分野の仕事か、ということですね。例えば、税理士が有望な資格とした場合、税金に対する実務経験や税務という面から中小企業の経営をサポートするという前向きな気持ちが必要です。生きがいとするか、収入源とするかで方向性は少し変わるかもしれませんが、やはり自分が何をしたいか、ということに尽きると思います。

・「地域づくり」で実績を上げられている方の体験談等。

今後とも時折掲載するようにしていきます。

・来年は、ガリレオ・ガリレイが望遠鏡で宇宙を観察してから四〇〇年の節目の年になります。そこで、天文についての記事をお願いできればと思います。

彗星を探すなどを趣味にしている人が見つければ、執筆してほしいと思います。

・五〇代も半ばとなると、定年後の生活が気になります。そういった関連記事や体験を知る冊子であると楽しみに拝見しています。
・退職後の充実した生活を送っているシニアの手記

記事ごとにある程度、年代、性別など特定のセグメントを意識して執筆いただいているコーナーがあります。今後も程よく、おりませてくださいと思います。

ます。

・子育てに関するものを希望します。子どもとの上手な付き合い方や育てるポイントなどを教えていただけると助かります。

Familyで取り上げます。

・公的年金制度の資金の運用が最近の金融危機の中でどのような状況になっているのかまた、公的年金制度の将来と見通しについて。(他同様一名)

五年ごとの見直しなど大きな動きがある時には、必ず記事として掲載します。

・介護をしておられる読者も多いと思います。認知症のことを知らず、お年寄りの「不可解な行動」が理解できずに辛い思いをしておられる方とお会いすることが良くあります。身近な人の認知症を早期に気づき、正しく対応する方法を取り上げていただきたいと思っています。

今後とも、Familyで取り上げていきます。

・仕事を続けていても、退職しても、生きていく限り人間関係はなくなりません。今回の「交流分析」は実践的でとてもわかりやすかったです。これからも、人間関係にかかわらず、実践的にいかせる記事を希望します。

・これまでの通信員からの声に掲載されていることに尽きますので期待しております。

・内容はとても参考になりますが、楽しめる記事もあっても良いと思います。

了解しました。

その他「意見」

・人間関係のゲームは興味深く読ませていただきました。夫婦が対立する例示では、まるでわが夫婦の様子が書かれているのではないかと思うくらい具体的で驚きました。「他人と過去は変えられない」というフレーズについては、子供たちが結婚する前に、どこかで何かのついでに話題にして父親としての蘊蓄を自慢してみようと思います。

人生の先輩として子どもに接する読者の姿が見えてきました。

・「島根で学んだ地域演出」二〇代の若い人の近年にないパワー溢れた生き方にとっても明るい感動をもらいました。ご自身の出身地以外の地域で、その人々と触れ合い、若者らしい信念、情熱でしっかり土地ぐるみを捉え地域活性化への道をしっかり切り拓く情景、また、郷里でも前向きに取り組まれ、日々努力と惜しみない若さ溢れる活動は、暗い話題の多い現状でとても頼もしく、明るい幸せな未来を感じさせられました。これからも益々のご活躍を期待いたします。(他同様三名)

まったく同感です。またいくつになってもそのパワーを持ち続けたいですね。

・前田知恵さんのインタビュー記事、大変感動を受けました。若くしてしっかりとした目標を持ちそれに向かって努力されている姿が誌上を通じてじんと伝わってきました。

勇気をもって一步を踏み出す事の大切さを感じたインタビューでした。

・今年もあとわずか、今年一年ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。スタッフの方々健康にご留意ください。

・来年も充実した誌面をお願いします

・いつもきれいな機関誌、有難うございます。

・毎回楽しく、そして十分に参考にさせていただいております。届くのが毎回待ち遠しくなっています。私自身、結婚を控えているので将来の資金計画を見通すのに参考にさせていただいています。これからも、お体にお気をつけてくださいませ。よろしくお願いいたします。

いつも「愛読」くださり、ありがとうございます。

・最近の金融危機の中で個人の資金運用が大変厳しい状況にあると推測されますが、それらを踏まえた「五〇歳代のライフプラン」や「投資信託の魅力」の続編を期待しております。

今後とも経済情勢などを睨みながら、記事を掲載していくように努めます。

・興味を持って、また自分を振り返って読める記事が多く、良かったと思います。団塊世代の人たちが、その持つパワーを生かす、そして将来の生きがいにつながるようなメニューをどんどん紹介して欲しいと思います。

六五歳以上の高齢者が約二割を占める日本において、その少し下の世代となる団塊世代がパワーを発揮し、個人の生きがいにつながり、それが社会を動かしていくような状況が作ればベストですね。ご依頼に添えるような記事を今後も掲載していきます。

・「歩く」楽しみ」は、私が三日坊主で断念したこともあり、初期の話を詳しく知りたかったです。

本人によれば、初期の段階では、歩数計を準備して記録しグラフを作成し、モチベーションを維持するようにしたそうです。

